

# 業務状況説明書

(平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)

富士見市下水道事業

## 1 平成29年度上半期の状況

### (1) 事業の概況

#### ア 業務

本年度の上半期は、前年同期と比較して水洗便所化人口で、766人(0.74%)の増加となっており、1日平均処理水量は927m<sup>3</sup>の減少、有収水量は、68,756m<sup>3</sup>の増加となっております。

区 分	平成29年度 上半期	平成28年度 上半期	比 較	
			増 減	増減率 (%)
水洗便所化人口 (人)	104,588	103,822	766	0.74
1日平均処理水量 (m <sup>3</sup> )	32,201	33,128	△927	△2.80
有 収 水 量 (m <sup>3</sup> )	5,183,626	5,114,870	68,756	1.34

#### イ 建設改良事業

公共下水道の汚水事業につきましては、柳瀬第9処理分区及び柳瀬第10-1処理分区(大字水子地内)の管渠築造工事を実施しています。雨水事業につきましては、新河岸川第五排水区(別所堀)の幹線管渠工事を実施しています。特定環境保全公共下水道事業につきましては、新河岸第12-2-2処理分区(大字上南畑地内)の管渠築造工事を実施しています。

### (2) 経理の状況(税込)

上半期における経理の状況は、次のとおりです。

#### ア 収益的収入及び支出

(単位:千円)

収 入				支 出			
科目	予算現額	執行額	執行率	科目	予算現額	執行額	執行率
事業収益	1,818,331	817,549	44.96	事業費	1,549,186	228,568	14.75
営業収益	1,292,712	812,227	62.83	営業費用	1,329,108	124,579	9.37
営業外収益	525,618	1,837	0.35	営業外費用	219,038	103,972	47.47
特別利益	1	3,485	348,466.00	特別損失	540	16	3.03
				予備費	500	0	0.00

#### イ 資本的収入及び支出

(単位:千円)

収 入				支 出			
科目	予算現額	執行額	執行率	科目	予算現額	執行額	執行率
資本的収入	1,084,992	184,924	17.04	資本的支出	1,778,939	642,644	32.63
企業債	798,300	0	0.00	建設改良費	997,761	194,178	19.46
国庫(県)補助金	88,000	0	0.00	企業債償還金	780,178	386,335	49.52
負担金	198,692	184,924	93.07	予備費	1,000	0	0.00

## 2 平成28年度決算の状況

### (1) 事業の概況

#### ア 業務

事 項	平成28年度		平成27年度		比 較			
	増	減	比	率	増	減	比	率
現在処理区域内人口(A)	108,629	人	107,916	人	713	人	100.66	%
行政区域内人口(B)	110,650	人	110,174	人	476	人	100.43	%
普及率(A)/(B)	98.17	%	97.95	%	0.22	%	—	
水洗便所化人口(C)	103,893	人	103,248	人	645	人	100.62	%
水洗便所済戸数	52,340	戸	51,408	戸	932	戸	101.81	%
水洗化率(C)/(A)	95.64	%	95.67	%	△0.03	%	—	
年間処理水量	11,919,078	m <sup>3</sup>	11,985,823	m <sup>3</sup>	△66,745	m <sup>3</sup>	99.44	%
年間有収水量	10,261,454	m <sup>3</sup>	10,178,656	m <sup>3</sup>	82,798	m <sup>3</sup>	100.81	%
1日平均処理水量	32,655	m <sup>3</sup>	32,838	m <sup>3</sup>	△183	m <sup>3</sup>	99.44	%

#### イ 建設改良事業

公共下水道の汚水事業につきましては、柳瀬第9処理分区〈大字水子地内〉を国庫補助事業分として295.9m、単独事業分として47.6m、柳瀬第10-1処理分区（大字水子地内）を国庫補助事業分として537.7m、江川第4処理分区（大字水子地内）を34.8m、鶴瀬駅西口土地区画整理地内を19.5m、合計935.5mの管渠築造工事を実施しました。

雨水事業につきましては、別所雨水ポンプ場において、ポンプ増設及び機械・電気設備工事を平成27・28年度継続事業として実施しました。また、新河岸川第一排水区の幹線管渠（尺地堀）〈U2600×2600、2700、2800、U2400×2400〉を303.2m、新河岸川第五排水区の幹線管渠（別所堀）〈□2200×1700〉を180.8m、鶴瀬駅西口土地区画整理地内で18.9m、合計502.9mの管渠築造工事を実施しました。

次に、特定環境保全公共下水道事業につきましては、新河岸第14処理分区〈大字下南畑、南畑新田地内〉を国庫補助事業として287.9m、単独事業分として547.5m、新河岸第12-2-2処理分区（大字上南畑）を国庫補助事業として395.3m、単独事業として347.3m合計1,578mの管渠築造工事を実施しました。

## (2) 経理の状況

### ア 収益的収入及び支出

収入総額は1,813,602,221円(税込金額1,887,074,989円)で、前年度より1.46%の減となっております。

下水道使用料については、917,564,275円(税込金額990,969,407円)となり、前年度と比較して0.88%の増となりました。

支出総額は、1,480,348,369円(税込金額1,513,380,033円)で、前年度よりも1.79%の減となっております。

この結果、純利益333,253,852円を計上しております。

### イ 資本的収入及び支出

収入総額 1,132,328,826円(税込金額1,132,438,724円)に対して、支出総額は1,764,424,054円(税込金額1,834,735,037円)となりました。

この結果、税込収支における差引不足額は702,296,313円となり、この不足額については、過年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額13,829,524円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額40,441,104円、過年度分損益勘定留保資金466,622,274円及び当年度分損益勘定留保資金181,403,411円で補填しております。

### 収益的収入及び収支(税抜)

(単位:円)

収 入			支 出		
科目	決算額	構成比	科目	決算額	構成比
事業収益	1,813,602,221	100.00	事業費	1,480,348,369	100.00
営業収益	1,247,987,372	68.81	営業費用	1,246,506,772	84.20
営業外収益	565,316,214	31.17	営業外費用	233,381,102	15.77
特別利益	298,635	0.02	特別損失	460,495	0.03

### 資本的収入及び収支(税込)

(単位:円)

収 入			支 出		
科目	決算額	構成比	科目	決算額	構成比
資本的収入	1,132,438,724	100.00	資本的支出	1,834,735,037	100.00
企業債	645,000,000	56.96	建設改良費	1,031,269,691	56.21
国庫(県)補助金	303,200,000	26.77	企業債償還金	803,465,346	43.79
負担金	184,238,724	16.27			